



# 土壌の蓄積リンを積極活用！ たまねぎの新しいリン酸施肥



リン酸施肥量 **5割量** 現行基準  
(**やや高い**の例) 4 kg/10a 8 kg/10a

## 概要 Abstract

- ✓ 土壌にリン酸が多く蓄積した現在、リン酸施肥量はこれまでの半分にできる。
- ✓ 養分収支と収益性を考慮した新しいリン酸施肥指針を定めた。

## 成果 Results

- 土壌有効態リン酸が30~100 mg/100gの場合  
リン酸施肥量は**これまでの半量で十分**。
- リン酸施肥量が少ないと作物による**吸い残しも抑制**  
(リン酸収支は改善)。
- 有効態リン酸が高い圃場でのリン酸**多肥は収益性悪化**。

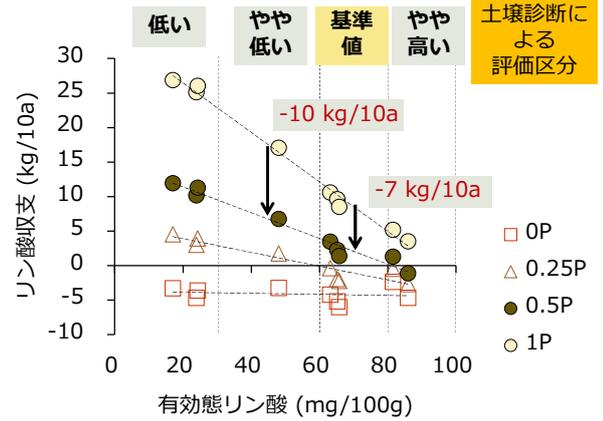


図2. 土壌の有効態リン酸とリン酸収支 (=施肥量 - 吸収量) との関係

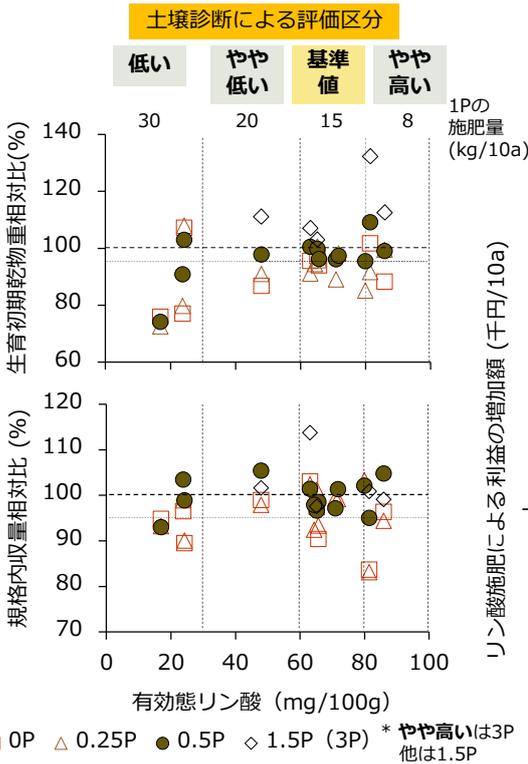


図1. 生育初期乾物重・規格内収量のリン酸施肥量現行基準時 (=1P) との相対比

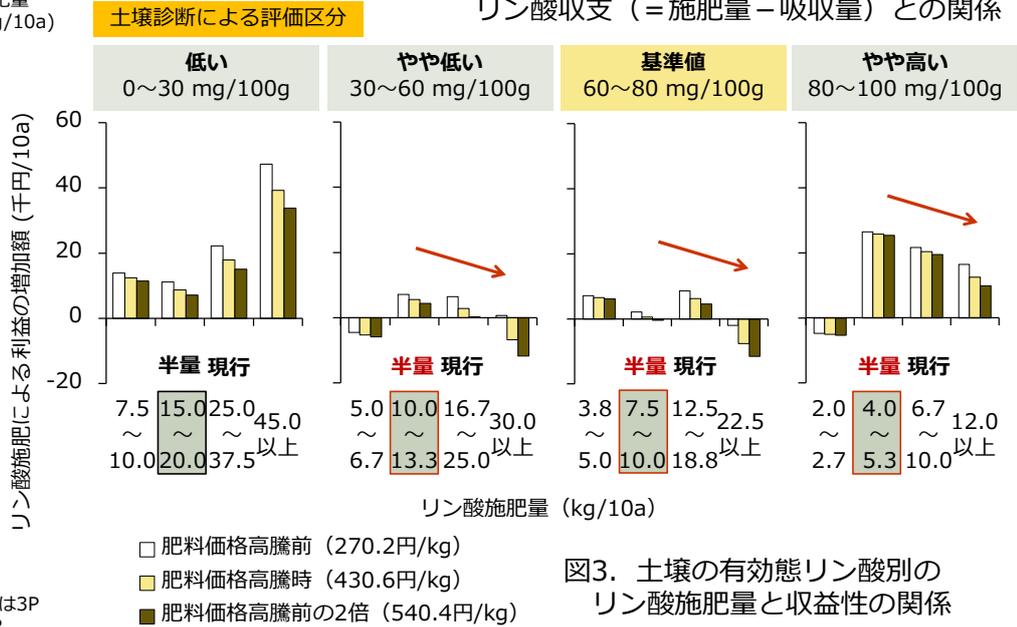


図3. 土壌の有効態リン酸別のリン酸施肥量と収益性の関係

表1. 土壌中の有効態リン酸含量に応じた新しいリン酸施肥指針

評価 (土壌診断評価区分)	低い	やや低い	基準値	やや高い	高い
範囲 (トルオグリン酸 mg/100g)	~ 30	30 ~ 60	60 ~ 80	80 ~ 100	100 ~
施肥量 (kg/10a)	30	10	8	4	0

## 普及 Dissemination

- 移植たまねぎのリン酸施肥量を決める際に参考にできる。
- 定期的な土壌診断に努める。
- リン酸株元局所施肥技術との組み合わせについては未検討である。

## 連絡先 Contact

北見農業試験場  
研究部 生産技術グループ  
0157-47-2146  
kitami-agri@hro.or.jp